2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	鍼灸総合実技		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	通年	教室名	5階実技室
担 当 教 員	寳田　潤	実務経験とその関連資格	田中整形外科クリニック・西村胃腸科外科クリニックで5年(1996年～1998年・1999年～2002年)リハビリテーション室にて鍼灸師として勤務 はり師きゅう師			

《授業科目における学習内容》

後期は経穴への刺鍼を行う。経絡の流注を考え、経穴を見つけ、正確に、より効果的に刺鍼を行うにはどうすれば良いか。引き続き、鍼の選び方、無針管刺入、押し手の使い方、刺入角度、鍼尖の感覚、、刺鍼転向術など基本的な技術を反復して磨くことを目標とする。

《成績評価の方法と基準》

学期末試験

《使用教材(教科書)及び参考図書》

東洋療法学校協会編:経絡経穴概論

《授業外における学習方法》

指定した教科書を事前に読んでおくこと。

《履修に当たっての留意点》

最終学年、卒業前の実技として、卒後に使える技術の習得、基礎技術の確認と反復練習を行います。
免許取得者として恥ずかしくない技術を持って卒業して下さい。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	背部兪穴の刺鍼について習得する	教科書 配布プリント	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	背部兪穴の刺鍼①		
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	背部兪穴の刺鍼について習得する	教科書 配布プリント	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	背部兪穴の刺鍼②		
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	背部兪穴の刺鍼について習得する	教科書 配布プリント	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	背部兪穴の刺鍼③		
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	前腕部の刺鍼について習得する	教科書 配布プリント	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	手の陰経の刺鍼		
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	前腕部の刺鍼について習得する	教科書 配布プリント	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	手の陽経の刺鍼		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	胃経の刺鍼を習得する	教科書 配布プリント	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	足の胃経の刺鍼		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	胆経の刺鍼を習得する	教科書 配布プリント	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	足の胆経の刺鍼		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	膀胱経の刺鍼を習得する	教科書 配布プリント	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	足の膀胱経の刺鍼		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	脾経と肝経の経穴の位置関係について説明できる	教科書 配布プリント	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	足の脾経と肝経の刺鍼		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	腎経の刺鍼を習得する	教科書 配布プリント	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	足の腎経の刺鍼		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	任脈の刺鍼を習得する	教科書 配布プリント	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	任脈の刺鍼		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	手の3陰経3陽経の施術を習得する	教科書 配布プリント	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	前腕への刺鍼		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	足の3陰経3陽経の施術を習得する	教科書 配布プリント	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	下腿への刺鍼		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	背部兪穴の刺鍼を習得する	教科書 配布プリント	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	背部兪穴の刺鍼		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	後期内容の理解を評価する	教科書 配布プリント	後期の範囲を見直すこと
		各コマにおける授業予定	まとめ・評価		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸スポーツ学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	鍼灸総合実技	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	3年生	学期及び曜時限	通年	教室名	5階実技室
担 当 教 員	寳田　潤	実務経験とその関連資格	田中整形外科クリニック・西村胃腸科外科クリニックで5年(1996年～1998年・1999年～2002年)リハビリテーション室にて鍼灸師として勤務 はり師きゅう師		

《授業科目における学習内容》

臨床現場に必要な技術を習得する。
臨床上の技術向上を目指す。

《成績評価の方法と基準》

後期試験:100パーセント

《使用教材(教科書)及び参考図書》

東洋療法学校協会編:経絡経穴概論

《授業外における学習方法》

指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。

《履修に当たっての留意点》
整形外科的な刺鍼を行います。筋の走行を考え、反応点を見つけ、正確に、より効果的に刺鍼を行うにはどうすれば良いか。鍼の選び方、無針管刺入、押し手の使い方、刺入角度、鍼尖の感覚、刺鍼転向術など基本的な技術を反復して磨いていきましょう。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	実習形式	授業を通じての到達目標	無針管刺入を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	無針管刺入(挟持法・提捏法)		
第17回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿の筋硬結の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	下腿後面を触察し、筋の走行と反応点を探る。押し手を使って正確にポイントに当てる方法を習得。		
第18回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿の筋硬結の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	腓腹筋・ヒラメ筋をメインターゲットに施術を行う。		
第19回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿の筋硬結の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	腓腹筋・ヒラメ筋をメインターゲットに施術を行う。		
第20回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿の筋硬結の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	ハムストリングスをメインターゲットに施術を行う。		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿の筋硬結の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	ハムストリングスをメインターゲットに施術を行う。		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	殿筋群・梨状筋・脊柱起立筋・腰方形筋の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	殿筋群・梨状筋・脊柱起立筋・腰方形筋をメインターゲットに施術を行う。		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	殿筋群・梨状筋・脊柱起立筋・腰方形筋の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	殿筋群・梨状筋・脊柱起立筋・腰方形筋をメインターゲットに施術を行う。		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	僧帽筋上部・肩甲挙筋・斜角筋・胸鎖乳突筋の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	僧帽筋上部・肩甲挙筋・斜角筋・胸鎖乳突筋をメインターゲットに施術を行う。		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	菱形筋・大円筋・小円筋・棘下筋の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	菱形筋・大円筋・小円筋・棘下筋をメインターゲットに施術を行う。		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	脊柱起立筋の反応や、棘間や夾脊への施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	棘突起の配列と並行する脊柱起立筋の反応を確認し、棘間や夾脊への施術を行う。		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	腰痛の施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	下腿後面～腰臀部の施術を応用して腰痛の治療を行う。		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩こりの施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	頚肩部・肩甲骨周囲・脊柱周囲の施術を応用して肩こりの施術を行う。		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩こりの施術を習得する	教科書	指定した教科書ページを事前に読んでおくこと。 毎回授業の最初に前回授業内容に係わる小テスト実施するので、復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	頚肩部・肩甲骨周囲・脊柱周囲の施術を応用して肩こりの施術を行う。		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	後期内容の理解を評価する	教科書 配布プリント	後期の範囲を見直すこと
		各コマにおける授業予定	まとめ・評価		